

広報たかのす

オメデトウ。

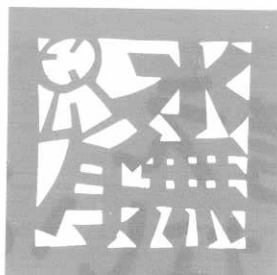
12連覇！



'93

6/15

●6月「梅雨」づくし
梅雨、入梅、梅雨、梅の雨、梅雨前線、梅雨雲、梅雨空、梅雨晴、梅雨明け、梅雨雷



6月
み な つゆ
〈水無月〉

〔表紙のことば〕



第18回町こども自転車大会が開かれ、竜森小学校チームが団体で見事12連覇を達成しました。児童、先生、父兄が一丸となって取り組んだ練習の成果が、伝統となって引き継がれています。県大会でもガンバレヨ！

人口と世帯数 | 5月31日 現在

住民基本台帳による

総人口 23,459人 (9人増)
男 11,294人 (8人増)
女 12,165人 (1人増)
出生 13人 転入 49人
死亡 14人 転出 39人
世帯数 7,399世帯 (9世帯増)

カルチャー&スポーツ



ファルコン

- 6・22(火) 秋田寄席 (林家木久蔵ほか)
入場料 3,000円 開演19:00
6・26(土) 福祉のまちづくり映画上映会
「安心して老いるために」 18:30～
入場料 1,000円

※詳しいことは、ファルコン(☎62-3311)まで

中央公民館

- 6・19(土)～21(月) 第4回鷹巣町陶芸教室作陶展
6・20(日)～21(月) 野草と樹木の展示会
7・2(金)～4(日) 松生派生花展
7・2(金)～4(日) 阿仁町・作山禮造絵画展

スポーツ

- 6・17(木) 鷹巣町小学校バレーボール大会
鷹巣体育館
6・26(土)～27(日) 郡市中学校バレーボール大会
鷹巣体育館
6・26(土)～27(日) 郡市小学中校陸上競技大会
鷹巣競技場

いま真剣に考えないと!!

増え続けるゴミは大きな社会問題となり、全国の自治体で問題解決に向け様々な取り組みがなされていますが、ゴミの減量化対策に反してその量はますます増え、不法投棄もあとをたたないのが現状です。一方町に目を向けると、平成三年から指定袋による分別収集がスタートし、徐々にルールが守られつつありました。しかし最近またモラルの低下が目立っています。“ゴミ問題”は環境問題の入口としてとらえた取り組みが必要であると言われています。今真剣に考えないとかげがえのないこの美しい自然も、私たちが他に誇れる快適な居住環境も失われることになります。ゴミについて、もう一度私たちの最も身近かな問題として考えてみましょう。

鷹巣町のゴミの 現状はどうか

私たちの毎日の暮らしからは、実にたくさんのお廃棄物（ゴミ）が出ています。身の回りには多くのモノがあふれ、不要となればすべてゴミとして捨ててしまうのがあたり前のようになっています。

現在、全国的に増え続けるゴミは、処理場・処分場の能力が追いつかない状況となっています。

さて、町では平成三年一月から指定袋による一般家庭ゴミの分別収集を実施してきました。

その結果、出されるゴミの量が減る傾向にあり、ゴミの集積所もゴミ袋が整理されて置かれ、収集率がアップしたため、収集回数を増やすなどの取り組みを行ってきました。

そして、鷹巣阿仁広域清掃センターも完成し、ゴミの問題はおおよそ順調に対応がなされていると思われていました。

しかし、その後一年、二年と経過してくるうちに、清掃センターが機能する最も基本的な条件である分別が守られていない例や、町営の埋立地へ安易に家庭ゴミ（燃やせるゴミ）を搬入する例、他の地区から指定日を無視してゴミを出す例、家庭以外の事業活動によるゴミを集積所



▲まだ各地で見られる不法投棄

へ出す例などいろいろな事例が発生してきました。

そして、町全体で排出するゴミの量も平成四年で一六、一八一トンと前年より七九一トン（約五％）増える結果となっています。

モラルの低下が目立っています

毎年春に全戸へ配布している収集日程表による指定日以外に、集積所へ出している例が最近かなり見受けられます。

日程表に赤字で注意書きにあるように《ゴミは収集日の朝六時～七時三〇分までに出して下さい。》を必ず守ってください。それ以外の時間帯に出されると置



▲町営ゴミ埋立地の寿命もあとわずか

山菜のシーズン

山が泣いています

ごみは持ち帰り
ましょう



▲ルールを守らないこんな例が

分別収集とゴミの 正しい出し方

ゴミの出し方についても一度確認してみましょう。

〔燃やせるゴミは〕

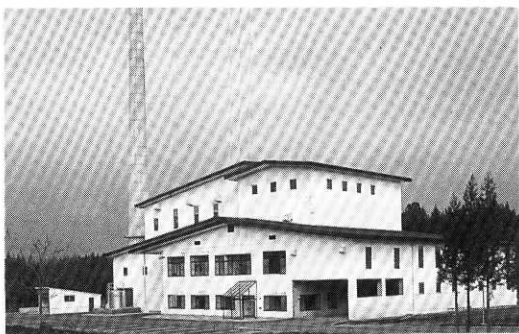
- ① 台どころのゴミ…十分水切りをして
- ② 紙くず類、少量の木くず(長さ五〇センチチ太さ五センチ束で三〇センチ)
- ③ 少量の雑草(よく土を落として乾燥させたもの)、少量の衣類(五〇センチくらいにカットして)
- ④ 紙オムツ(汚物を取り除いて)

〔燃やせないゴミは〕

- ① 金属くず類、ガラス類、せともの類
- プラスチック類、革製品類、スプレー缶類(必ず穴を開けてガス抜きして)
- ビニール類(肥料用ビニール袋は粗大ゴミ収集時に出してください)

かれたままになり、周囲が迷惑します。また、指定の収集袋による町営埋立地への搬入が目立ちます。残余面積がどんどん減っています。ゴミをもう一度見直して、収集に出せるゴミを分別するようにして下さい。

そして、今なお後を絶たないのが山林や原野などへの不法投棄です。発見された場合は罰則規定があり、すでに今年度二件の摘発がありました。



▲住みよい環境を支える「清掃センター」

ある町内の事例から

「こんなことで大変困っています」

「自分の地区の集積所にゴミを出さず、通勤の途中などでいつとなく出され、収集車に回収されず残っていることがあるため、犬や猫、カラスに荒らされたり、夏場になると悪臭がして不衛生でもあり、みんなが大変困っています。」

「こうして改善されました」

「以前は、ゴミの出し方が悪くモラルの低さが悩みの種でしたが、分別収集実施を境に、収集袋へ氏名を記入して出すよう町内で申し合わせたところ、今ではゴミに対する意識が変わりマナーも定着し、整然とした出し方が守られるようになった」
また、「集積所がいつもきれいだ」と皆んなで気をつけてきれいに保とうとする。」

ゴミの減量化に 向けた取り組み

増え続けるゴミは、その処理に要する費用も比例して増加し、大きな財政負担になります。

清掃センターや今春供用開始した最終処分場も、処理能力に限度があります。

こうしたことから、ゴミの減量化は今後の最も大きな課題となっています。

まず、①きちんと分別収集を行うことです。私たちが毎日出すゴミの中にまだ使えるもの、資源として利用できるものがあるはず。また、②わたしたちが毎日出すゴミの中には資源としてリサイクル（再利用）できるものがたくさんあります。

特にビン、缶、古紙などは回収することでゴミの絶対量が減るほか、地球上の限られた資源を大切に使うことにもなります。そして、③町が年次計画で購入補助を行っている生ゴミ処理器（コンポスト）の普及です。家庭から出る生ゴミの七〇％は水分が占めるため、焼却炉への負担も大きくなります。この生ゴミがなくなるとゴミの減量化に

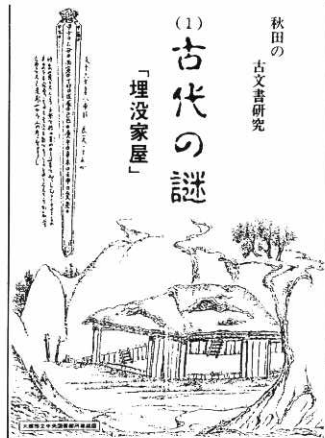


▲普及する生ゴミ処理器（コンポスト）

大きく結びつくことになります。

さらに、コンポストで生ゴミが肥料となつて土に返るということは、自然体系のうえからも大切なことです。しかし、これらはひとつの手段に過ぎず、最も重要なことは、④必要性や環境への影響などを考慮し、できる限り使用量を減らす、または安易にゴミにしないなどの意識の高揚にあると思われます。





「古代の謎 埋没家屋」

秋田の
古文書研究

小猿部古文書講座が

学習の成果

＝秋田の古文書解読シリーズ＝

『秋田の古文書研究(1)古代の謎「埋没家屋」』を発刊

小猿部古文書講座と発行までの経緯

平成四年より七日市龍泉寺が主催して、毎月一回長岐喜代次氏を講師に招き、小猿部地方の地方文書（じがたもんじょ）を教材に郷土の歴史を学習し、将来の地域のあり方などを考える集いとして開講した。（登録会員約九十名）そして、これまでの講座で解読した郷土資料を翻刻紹介するとともに、研究を踏まえた新しい考えをまとめ公刊の運びとなりました。

本書の内容と特色

全国の古代史研究者が注目する「小勝田埋没家屋」を主題とし、資料や遺跡のほとんどが伝えられていない、古代埋没家屋について、近世文書の解読から考察していこうとする独特のアプローチがなされており、中学・高校の郷土史学習参考教材としても格好の資料となります。

頒布のおしらせ

書名 『秋田の古文書研究(1)古代の謎「埋没家屋」』
編著者 長岐喜代次
発行者 小猿部古文書研究会
（鷹巣町七日市 龍泉寺内）
後援 鷹巣町教育委員会
発行 平成5年6月10日
頒価 1,800円（送料 360円）
取り扱い 小猿部古文書講座事務局
（七日市龍泉寺内 ☎0186-66-2032）鷹巣町教育委員会・鷹巣町内各書店

町長日誌 5/16～31

16日 綴子小学校運動会に出席、激励あいさつ。
16日 「日本の森林、山村、林業を考え再建を訴える県民大会」に出席。（秋田市）
20日 鷹巣町小学校交歓陸上競技大会に出席、激励あいさつ。
20日 鷹巣農業改良普及協議会総会に出席。（末広）
21日 公務員退職者組合総会に出席、講演。（交流センター）
24日 秋田県農業改良普及事業協議会総会に出席。（秋田）
26日 「日本の森林、山村、林業を考え再建を訴える国民大会」に出席。（東京）
27日 秋田県林業協会総会に出席、林道維持管理部門で優秀賞を受賞。（秋田市）
27日 空港地権者委員会に出席。（沢口林業センター）
28日 鷹巣町育樹祭に出席。
30日 大館北秋田訓練水防地区大会に出席。（米代川河川敷）
31日 鹿角短絡路線建設期成同盟会総会に出席。（鹿角市）
31日 空港同盟会役員会、総会に出席。（松鶴）

町長 談話室



この二年間を振り返って

町長 岩川 徹

いるそのものです。

大館能代空港の事業化、農協合併、東小の建設、種苗交換会の開催など多岐にわたる施策や事業に取り組んできました。

そして、町民が求める質の高い行政サービスを推進するために、役場機講の改革も行いました。

今後の二年間は、町民が主人公であることを忘れず、町づくりを実践してまいりたいと考えています。

6月5日
6日

ドット
8万人

第9回

ふるさと踊りと餅こまつり

フォトスケッチ

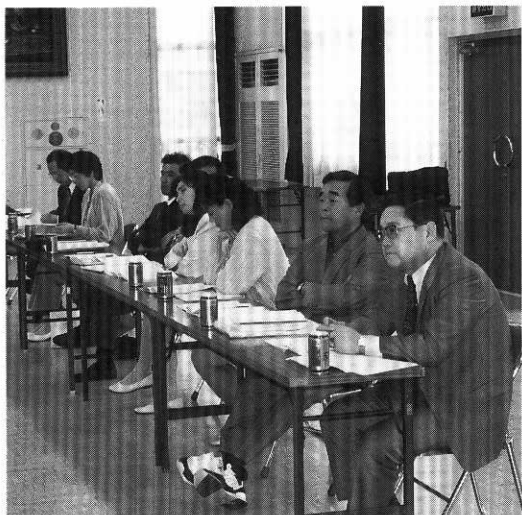


▲今年もミス大太鼓の3人が華をそえました
左から出川美紀子さん 佐藤陽子さん 佐藤尚子さん
(綴子) (米代町) (東横町)



▲今年はお綴子下町の大名行列も出演、
沿道から盛んな拍手が贈られました

▲5万人もの見物客となった花火大会、
県北最大規模といわれました



▲熱心に報告に聞き入る新潟県大和町の皆さん



十のグループから、今後実践するテーマなどについて報告された

各ワーキンググループ 今年の実践テーマ

この講話を参考にしようとして、各グループごとに実践方向の協議を行い、全体会で次のような報告がありました。

▽ボランティア活動の実践ワーキンググループでは、町内にボランティアグループが十五あるが、地域に密着し、全町的に輪を広げて行くため、各集落・町内ごとに研修会を開催し、活動に関する共通理

が整ったと言えるでしょう。



▲NHK大阪・小堀ディレクターがヘルパーの活動状況取材

解を求めながら進める。

▽マンパワー利用拡大のグループでは、ホームヘルパーの増員に伴い、活用についてのPRや、派遣先のプライバシー保護の問題なども検討を加え、利用の促進を図るほか、「元気な高齢者」の活用策も模索する。

▽デイサービスをテーマにしたグループでは、昨年度実施して好評だった伊勢町で今年も七月上旬に行うほか、舟見町や高野尻などでもミニデイサービスの実施を検討する。

▽地域福祉センターの利用ニーズづくりグループでは、地域センターも必要であるが、早急に核となる総合福祉保健



「福祉の家」(仮称)運営費にと伊東会長から寄付

施設を建設するよう具申していく。

▽補助器具利用グループでは町の予算確保を受け、具体的な器具の種類を特定し、町に提案していく。また、七月に寝たきり老人の介護者向け民間住宅が完成するのを機に、介護技術の向上にも努めたい。

▽ワーキンググループの人たちの活動拠点となる「福祉の家」運営委員会には、各グループから代表が参加する。

また、伊東先生から福祉の家(仮称)運営委員会に対して運営費に役立ててほしいと、三十万円の寄付がありました。

『福祉のまちづくり』映画上映会

演出:羽田澄子

安心して
老いるために

6月26日(土)

午後6時30分から

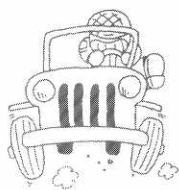
○鷹巣風土館ホール

○主催「安心して老いるために」映画を見る会

○入場料 1,000円

※上映後羽田澄子氏との懇談を予定しております。

ゆかいな なかも



4×4クラブ フォアの巻

4×4 CLUB FOUR

(フォーバイフォー・クラブフォア) は、平成二年四月に五名で結成された四輪駆動車のクラブです。現在クラブ員は二十名。鷹巣町をはじめ二ツ井町、合川町、森吉町、田代町、小坂町など近隣町村からも四輪駆動車を通じて仲間が増えつつあります。

クラブの目的は、四輪駆動車をこよなく愛していることを前提に、ファミリーを中心としてアウトドアでのキャンプやスポーツ、ツーリング(オン・オフロード走行)、交通モラルの向上、自然保護の認識向上などです。

もとはといえば車好き人間の集まりでしたが、年を追うごとに多彩な趣味を持つ方々が入会したので、「遊び」に関しては一年を通じて幅広く楽しめるクラブです。

クラブ恒例のイベントとしては、五月のゴールデンウィークに観桜会を兼ねたツーリング、六月はスポーツ大会(今回はソフトボールとバーベキューを予定しています)。

七月は田沢湖国民休暇村でキャンプ(一泊二日)、十月はたんぼ会を兼ねたツーリングなどがあります。

4×4ブーム、アウトドアブームといわれていますが、今後の課題としてブームで終わらないクラブ、もっとアウトドア指向の強いクラブづくりを心掛けたいと考えています。

現在、CLUB FOURではクラブ員も募集しています。性別・年齢は問いません。4×4を所有されている方、又は近々購入予定の方、自然を愛し少年の心と冒険心を持った方、明朗で奉仕精神を持った方、そして何よりも四駆が好きな方、一緒に遊びませんか。お待ちしています。

●連絡先

4×4 CLUB FOUR
会長・事務局 山口 茂
鷹巣町鷹巣字平崎上岱

●FAX

〇一八六―六二一―〇三三七

役場は7月から

おしらせ
すべての土曜日が
閉庁になります

役場では、七月からすべての土曜日が閉庁になります。

また、七月一日より勤務時間も午前八時三十分から午後五時十五分(従前は午後五時)までに変更になります。

完全土曜閉庁を実施するにあたっては、行政サービスを下ろさないよう、事務の効率化を含め、緊急時の業務体制に万全を期してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

お知らせ 広報 クイズ

広報クイズへご応募ありがとうございます。5月15日号の正解は次のとおりです。

▼問1 簡保資金 ▼問2 五月

二十六日 ▼問3 六月

■当選者は次の方々です。

▼花田勝彦さん ▼河田イマさん
▼三沢美佐子さん ▼鈴木廣子さん
▼沢田ヨシさん

■6月15日号の問題

▼問1 平成四年の鷹巣町におけるゴミの総排出量は何トン?
▼問2 福祉のまちづくりを視察した新潟県の町は?

▼問3 これまでの植樹祭にかわって開かれたのは○樹祭

青年会の新企画「ストリートバスケット」は大人気。町外からもたくさんの若者が参加▼し、盛り上がりました

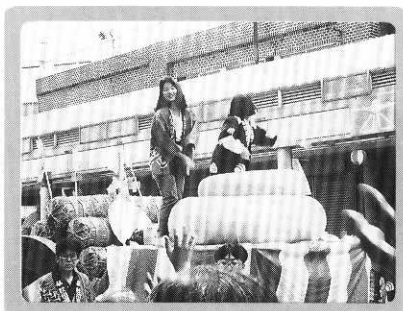


▲餅引きのぼし大会では4組に分かれ、最高が50.6メートルの記録、その後参加者がおしるこにさせていただきました

やっぱい子どもが
主役…



▲太鼓フェスティバルでは鷹巣ばやしが威勢よくバチさばきを披露しました



▲ジャンボ大八車から振る舞われる餅に人気が集まりました



▲ふるさと踊りで祭りは最高潮に達しました



福祉のまちづくり 第2回ワーキンググループ レポート

福祉のまちづくりを「自ら実践する」ワーキンググループの二回目となる全体会が開かれ、各グループの今後の目標や具体的な取り組みについて報告がなされました。昨年度は主に調査活動、そして今年度は具体的な活動の年と位置付け、ボランティア、行政サービスなど課題ごとに十グループに分かれて熱心な討議が行われ、ホームヘルパーの業務に関する啓蒙活動、ミニディサービス事業の拡大などのテーマが決まりました。

新潟県大和町から 視察団が来町

ワーキンググループ懇話会に先立ち、岩川町長から「福祉のまちづくりとともに、福祉でまちづくりを行いたい。ワーキンググループはその手段のひとつであり、町政の主人公である町民が参画しお互いが力を合わせ実践していただきたい。」とあいさつがなされました。また、会場には新潟県「大和町」のワーキンググループ視察団六名（町立病院職員・保健婦・大学講師など）や、朝日新聞（仙台）、NHK（大阪）からの取材も

ありました。（全国に放送）

大和町は、町立の「ゆきぐに大和総合病院」を中心に医療と福祉が一体となっており在宅ケアを確立した全国でも有名な老人福祉先進地ですが、当町の住民参加による福祉のまちづくりを視察しようと来町したもので、各グループの討議に加わり熱心に発表に聞き入っていました。

伊東敬文先生の 講話から

まず、ワーキンググループの今後の実践活動の方法について福祉のまちづくりアドバイザーの伊東敬文先生から講

話がありました。

その内容を要約すると、ワーキンググループの運営には次の六ステップがあり、それぞれのステップが完全に終了したと参加者が納得してから次のステップに移動すること。また、グループの参加者がお互いの意見を十分に聞き、自分の意見をより高いレベルに磨き上げることが原則であり大事なことです。

- 一、問題の共通認識
- 二、原因の共通認識
- 三、解決策の検討と合意
- 四、実行計画の策定
- 五、実行
- 六、評価

このような合意形成をするためには、各参加者が自分の意見を整理構成し、他人に理解してもらえるような理由付けのある意見発表をしなければなりません。

私たちが最初に体験するワーキンググループは「家庭」です。家庭内で起こる様々な問題に対して、家族が意見を出し合って合意形成する習慣を身に付け、それが学校や職場・地域社会でも実践されれば住民参加の町づくりの条件



地域福祉センターの利用をテーマにしたグループ



ディサービス利用拡大をテーマにしたグループ

国際交流広場に 参加してみませんか

世界の中での日本の役割、また、日本における地方の時代がさげばれている今日、国際化の波も身近なところで感じられるようになってきました。

町では国際化を考える機会として、国際交流広場を開催します。

■主 催 教育委員会

■日 時 6月23日(水)

午後3時～

■会 場 中央公民館

■内 容 第1部 国際料理教室

午後3時～5時

第2部 国際化シンポジウム

午後7時～9時

テーマ 「鷹巣町の国際化はどうかあるべきか」

■対 象 国際交流に関心のある方
中学生、町外在住の方

■参加費 無料

■申込先 教育委員会(21日まで)
生涯学習課国際交流係

☎62-1111

内線426



▲ 昨年クラブでツーリングにでかけた八幡平で。
雪の回廊を突き進み、駐車場で記念撮影。



四輪駆動車が勢揃い



■応募方法
ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて係まで送ってください。正解者の中から抽選で5名の方にテレホンカードをプレゼントします。

■応募先 〓018-33 鷹巣町
花園町19-1 鷹巣町役場広報広聴係

▽締め切り 〓6月30日(水)
〓018-33

6月は「外国人労働者問題啓発月間」

外国人(日系人を含む)の雇用についてのご相談は

最寄りのハローワーク

(公共職業安定所)

または秋田県職業安定課まで



▲ブルーンボール(竹ぼうきサッカー)で交流



10年前の悪夢を教訓に

— 県民防災の日訓練行 —



一方、逃げ遅れた人やけが人が屋上に避難しているとして、消防本部のハシゴ車で救出する一幕もありました。訓練後、同本部の武田次長から「ベルがなくてもすぐに飛び出さず、まず状況の確認が必要」また、「非常口に車両が止まっていた」などの指摘がありました。

県民防災の日の五月二十六日、役場では「強い地震で一階から出火」という想定で防災訓練が行われました。庁内放送や非常ベルで職員や窓口に訪れていた町民の方たちが、非常口から避難を開始し、職員による自衛消防隊が庁内三カ所から一斉に放水を始めました。

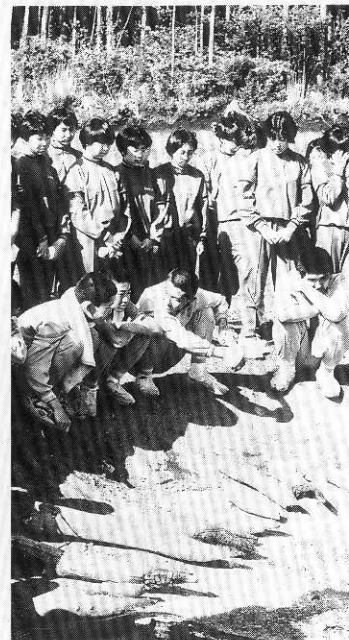


▲鷹巣保育園の園児たちも熱心に見学

南中恒例の土器づくり

— 古代のロマンにひたる —

学校の周辺に縄文時代の「藤株遺跡」がある南中学校で、五月二十八日恒例の縄文式土器の野焼き作業が行われました。学校の周辺に縄文時代の「藤株遺跡」がある南中学校で、五月二十八日恒例の縄文式土器の野焼き作業が行われました。



二年生の生徒七十六人が昨年の夏休みに仕上げて乾燥させていた土器をそれぞれが持ち寄り、グラウンド脇に掘った窯（かま）に入れ火を入れました。生徒たちは、窯から取り出されてまだ熱い土器を汗だくになりながら布で磨き、作品にぎざまれた縄目模様や焼きあがった色の具合などを見て古代のロマンにひたっているようでした。

特に今年は、鉢巻山の粘土を使用し忠実に再現しようとの試みで、出来上がりが心配



緑の大切さを確認

― 第一回鷹巣町育樹祭 ―

第一回鷹巣町育樹祭が五月二十八日、防沢深閑沢地内の慶祝森林自然公園で行われました。

これまでは植栽に重点を置き植樹祭を行っていましたが、今年からは保育する取組みに方向転換しての、育樹祭となりました。

会場となった慶祝森林自然



公園には、好天のもと綴子小学校、南小学校、竜森小学校の児童たちや緑化推進団体一般市民合わせて二百人以上が参加し、「活力ある森林の造成と林業の振興を期する」「豊かな文化を育む緑の環境づくりを推進する。」「青少年の緑化推進活動を助長し、次代を担う後継者の育成に努める」などの宣言文を採択しました。

続いて町長、営林署長などで記念植樹を行った後、下刈り作業の実演があり、育樹作業に入りました。

六十三年以降に植栽した北側斜面のツツジの周辺に固形の肥料を埋め、点在するゴミを一掃しました。

作業後、参加者たちにはエゾムラサキツツジ、ライラックなどが記念にプレゼントされました。

汗だくで水防訓練

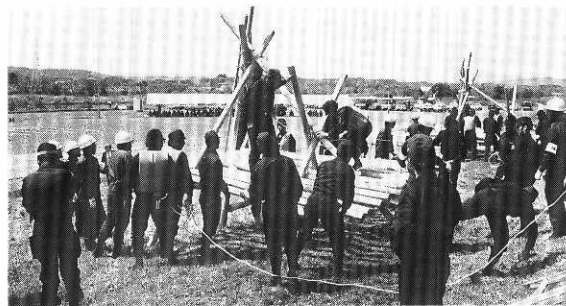
― 八市町村の水防団が参加 ―

大館北秋田地区水防訓練が鷹巣橋下流米代川右岸の河川敷で行われました。

この訓練には、鷹巣町をはじめ八市町村から水防団員（消防団員）、北秋田土木事務所、所職員の職員など合わせて百六十人あまりが参加し、好天のなか汗だくになり災害に備えた訓練を展開しました。

九班に分かれて行われた訓練では、「米代川の水位が六、

一メートルに達し、舟見町右岸で堤防の洗掘が発生した」との想定で、鷹巣阿仁広域消防署員の指導を受けながら、枝葉のよく繁った木を流し水の勢いを緩める「木流し工」、丸太を組む「川倉工」堤防が削り取られるのを防ぐ「シート張り工」など各種の水防工法をチームワークよく実施していました。



祖父母とのふれあい教室

― 田植えで絆深まる ―

竜森小学校では、六月一日第一回の祖父母ふれあい教室が開かれ、授業参観や田植えを一緒に行うなど楽しい一日を過ごしました。

この日の行事には、全校児童三十五人をはじめ祖父母十人余りと、町の国際交流員であるアンドレアさんも加わり、開会式のあと一・二年生が苗運び三年以上が田植え作業

と分担し、それぞれ祖父母から手ほどきを受け、泥まみれになりながらも終始なごやかな雰囲気で行われました。

児童たちは、祖父母の注意を聞きながら上手に植えつけ作業を行っていましたが、祖父母のなれた手つきとその速さに感心することしきりでした。

祖父母との絆を深めあって植えられた苗は、秋には収穫され感謝祭で餅つきをしています。ただくことになっています。



健康広場

福祉保健課からのお知らせ



保健婦からのメッセージ

お母さんへのアドバイス

子どもに声を

かけてあげて!!

ある健診会場での出来事です。小児科のお医者さんの診察を待っている間、一人の子どもが診察会場を行ったり来たり探検中：お医者さんのそばに行き診察器具に触ったり、消毒薬に手を入れて水をこぼしてみたりして動き回っています。

ところが、その子どものお母さんはお友達とおしゃべりしていて、全然子どものことを見ていないのです。

子供は好奇心旺盛です。何でもさわってみたい、見てみたい、やってみたい、そんな気持ちでいっぱいです。子どもの成長を温かく見守ることは、親としてとても大切なこ

とです。

でも、子どものやりたいことをやらせ放題ではちょっと考えもの。自分の順番を待つことや我慢することは、これから集団生活をしていくうえで必要なことです。お母さんが、その場で声をかけて教えてあげましょう。

七日市地区健康
大学を開催

町では、健康で生きがいのあるまちづくりのために今年度は七日市地区で健康大学を開催します。

七日市地区以外の方でもお気軽にご参加ください。

▼日時▶六月二十三日(水)

▼時間▶午前十時～

午後二時三十分

平成5年度胃集団検診日程表

月	日	曜	検 診 会 場	対 象 地 区
6	16	水	蟹 沢 会 館	蟹 沢
	17	木	緑ヶ丘担い手センター	緑ヶ丘
	18	金	今泉生活改善センター	今 泉
	19	土	前 山 会 館	前山、黒沢
	21	月	坊 沢 公 民 館	新屋敷、大町、街道町、上町
	22	火	相 善 会 館	羽立、相善、深閑
	24	木	胡 桃 館 会 館	新田中、中学校前
	25	金	田中総合センター	田中、南田中
	29	火	前 野 会 館	昭和、前野、大堤
	30	水	綴 子 大 畑 会 館	岩谷、二本杉、大畑
7	1	木	掛 泥 会 館	掛 泥
	2	金	糠 沢 会 館	糠 沢
	3	土	小 田 会 館	松原、田子ヶ沢、小田
	5	月	向黒沢(山内清種宅前)	向黒沢

(注意事項)

- 受付時間は、午前6時～7時までです。
- 検診前日の夕食後はお茶、おやつ等を取らないこと。
- 問診票は記入のうえ、当日受付へ提出して下さい。
- 国民健康保険加入者については、個人負担を補助しますので、必ず国民健康保険証を持参して下さい。

○検診料は900円です。

▼場所▶七日市基幹集落センター

については次回広報でお知らせいたします。

▼予定人員▶百人

▼今後の開催予定日

▼講座内容▶「健康への道～息切れを感じたら～」(講師 津谷内科院長 津谷泰夫)

第二回▶七月二十二日(木)
第三回▶八月十九日(木)
第四回▶九月十六日(木)

※七月～十月にあと四回の講座を予定していますが、内容

第五回▶十月二十五日(月)

6月の健康ごよみ

■21日（月）

○第3回妊婦教室

場所—中央公民館健康相談室

時間—午前10時～12時

内容—育児の要点について

◇家族の方も一緒に受講しても
かまいません。

■21日（月）

○母子健康手帳交付と

第1回妊婦教室

受付—午後1時～1時20分

（妊婦教室終了は3時）

場所—中央公民館健康相談室

内容—母親の心がまえ、妊娠中期
の生活指導、母乳栄養につ
いて、その他

持参—印かん

◇必ずご本人がおいでください。

◇希望者には、終了後個人相談に
応じます。

◇受付時間は厳守ねがいます。

■23日（水）

○健康相談と健康教育

場所—中央公民館健康相談室

時間—午前10時～12時

午後1時～3時

内容—痛風とリウマチを

予防する日常生活

■29日（火）

○4カ月児健康診査

対象—平成5年2月生まれ

受付—午後1時～1時15分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳、バスタオル

○7カ月児健康相談

対象—平成4年11月生まれ

受付—午前9時30分～9時45分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳、バスタオル



坊沢相善
おおかわ さきちゃん



旭町
なりた ようこちゃん



東横町
なりた みほちゃん



宮前町
かねえだ そうへいちゃん

夜間当番医(夜間診療) 日程表

(午後6時30分～9時)

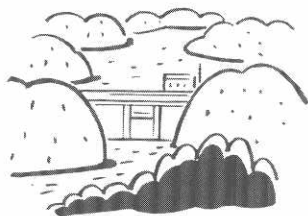
6月曜日	医療機関名	電話番号
16 水	北秋中央病院	62-1455
17 木	藤原医院	62-2882
18 金	佐々木産婦人科医院	63-0105
19 土	盛岡外科医院	62-1101
20 日	としま医院	62-1267
21 月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
22 火	近藤医院	62-1155
23 水	北秋中央病院	62-1455
24 木	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
25 金	奈良医院	62-1146
26 土	佐々木産婦人科医院	63-0105
27 日	藤原医院	62-2882
28 月	佐藤外科消化器科医院	62-1420
29 火	盛岡外科医院	62-1101
30 水	としま医院	62-1267

○応急の診療を要する患者。
○往診はしていません。
○仕事や職場の都合で夜間
診療を受ける場合は、診

※年齢・病気の症状にか
わらず当番医に電話等
で相談を受けてください。

暮しの情報

INFORMATION



「土砂災害防止月間」
(6月1日～30日)

行政相談日 今月は17日です

行政についての不満や要望がありましたら、どんな些細なことでも、遠慮なく申し出てください。

▽日時 六月十七日(木)

午前十時～午後三時

▽場所 中央公民館

▽行政相談委員 近藤 栄一

鷹巣町材木町六一三十

☎六二二二一一〇

※相談は無料で秘密は固く守られます。

一斉清掃の実施

六月の全国環境月間にあわせ、町では全町一斉清掃指導を次の日程で実施します。

Ⅱ巡回指導日程Ⅱ

▽六月二十三日(水)

旧鷹巣地区

▽六月二十四日(木)

綴子・坊沢・七座地区

▽六月二十五日(金)

沢口・七日市・栄地区

Ⅱ清掃重点事項Ⅱ

○土地及び建物内外の清掃を行うこと。

○家畜飼育農家は、堆肥場周辺及び、畜舎等内外の清掃を十分に行うこと。

○生活雑排水の自己管理を行うこと。

○生活雑排水の自己管理について、台所・浴槽から排出される固形物のゴミは、側溝のつまり原因となりますので、十分にご注意ください。

※詳しくは、住民生活課環境生活係までお問い合わせください。☎六二二二一一一 内線一二九

河川敷地の利用は

河川の堤防や敷地は、洪水からみなさんの生命と財産を守るためにあります。河川はみなさんの共用財産です。地域のみなさんが親しめる河川にするため、次のような事に

平成5年度前期 危険物取扱者試験案内

平成5年度前期危険物取扱者試験の概要をお知らせします。試験の詳しい内容については、受験案内をご覧ください。

▽試験会場

秋田経済法科大学

他二会場

▽受験資格

一般及び高等学校生徒

▽受付時間

六月二十三日(水)～

七月七日(水)

▽願書の提出先

(財)消防試験研究センター 秋田県支部

▽願書の請求先

消防試験研究センター 秋田県消防防災課

秋田県消防本部

小坂町消防団常備部

■甲・乙(一～六類)・丙種

▽試験日時 八月十日(火)

午前十時～十二時三十分

協力をおねがいします。

○河川敷地には廃車や小屋掛などを置かない。

○畑地等から出た野菜クズ、家庭から出たゴミ・し尿等を捨てない。

○ゴミや家庭の解体材の焼却は河川敷地では燃やさない。

※ご相談・連絡先

北秋田土木事務所

▽試験会場

秋田経済法科大学

他二会場

▽受験資格

一般及び高等学校生徒

▽試験日時

八月二十八日(土)

午後二時～四時

▽試験会場

県内各工業高等学校

▽受験資格

高等学校生徒

※お問い合わせ先

(財)消防試験研究センター

〒〇一〇 秋田市中通四

丁目三番二十三号(秋田

県消防会館内) ☎〇一

八八―三六―五六七三

☎六二二二一一一

善意

町社会福祉協議会へ、次の方から寄付金をいただきました。

ご芳志に感謝いたします。

▽財団法人日本民謡協会秋田

鷹巣支部から、第五回民謡

「親と子の秋田見聞録」参加者募集

・・・ふるさとづくりの現場を

親子で体験してみませんか・・・

- 参加資格 小学4年生以上の県内小中学生とその保護者2名1組で30組
- 日 程 夏休み期間（7月26日～8月25日）中の本人が希望する日で、参加決定後、市町村担当者と日程を調整する。

1泊2日（但し、原則として土、日、お盆期間を除く）

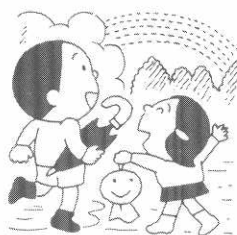
- 体験内容 観光・レクリエーション・祭り・イベント・ものづくり、等

- その他 参加者の交通費、宿泊費は県が負担します。

参加を希望される方は、6月22日（月）までに郵便番号、住所、氏名を明記し62円切手を貼った返信用封筒を同封の上、申し込んでください。

■あて先

〒010
秋田市山王4丁目1-1 秋田県庁地方課内「親と子の秋田見聞録」係 宛て
詳しくは、地方課企画振興担当（☎0188-60-1144、1146）までお問い合わせください。



香典返し

チャリティ―発表会収益金として十四万三千五十九円

このたびの方々から、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
ご芳志に感謝いたします。
▽坊沢大町―寺田捨松さんから亡妻キクエさんの香典返し
▽舟場―斎藤義光さんから亡父徳治さんの香典返し

▽坊沢大町―寺田弘さんから亡父宗忠さんの香典返し
▽米代町―五代儀寛さんから亡父雄一さんの香典返し
▽元町―高橋栄一さんから亡母ミチノさんの香典返し
▽大堤―畠山吉次郎さんから亡母マツさんの香典返し



慶弔だより

5月16日～31日
誕生おめでとう
（こゝにいます）

津谷真理香（昭子長女）南鷹巣
成田 秀（千正秋人長男）太田
小林 康希（康光子長男）あけぼの町
河田寛久郎（美奈子二男）伊勢町

自動車税
町県民税
納期限は
6月30日です

おくやみ申し上げます
三澤 シゲ（82歳）大堤
五代儀雄一（62歳）米代町
畠山 マツ（97歳）大堤
和田 ミヨ（85歳）住吉町
高橋 チヨ（83歳）伊勢町



二人の前途を
祝福いたします

高桑 沙波（直史長女）南鷹巣
畠山 未咲（幸美長女）脇神
佐藤 鷹俊（克也長男）掛泥
北嶋 剛（春美二男）米代町
米澤和佳奈（将子長女）糠沢
小林 基光 旭町
福原 直美 住吉町



いまどきの 若者の声を！

ヤングマン^{第2弾}テーブル 参加者募集

昨年に引き続き“ヤングマンテーブル”への参加者を募集しています。

21世紀を担う“いまどきの若者”の小さな提言を大きな声で主張してみませんか。きっと、活力のある未来の鷹巣の姿が見えて来ます。

対 象 者：鷹巣町をもっと活き活きさせたい若者

受 付 期 間：6月25日まで

第 1 回 開 催：7月2日予定（場所等詳細については追って連絡します。）

第2弾開催趣旨：昨年度提言されたものに新しい提言も追加し、事業化できるもの、したいものを絞り込み実践へのステップとする。

21世紀に向かって

申し込み先：鷹巣町地域政策課地域振興係
(TEL 62-1111 内線232・233)

夢・希望発 ⇒ 我が町 再発見行
自 分
鷹巣町発行

遊 研 修

いよいよ
出発進行！

遊研修...

とは、年次計画にもとづき、参加者同士が夢や希望を語り合いながら、それを実現することによって、「自分」そして「鷹巣町」を再発見する21世紀の鷹巣町をつくる探求心あふれる人を応援するものです。

18日...

に第1回目のセミナーが開かれ、いよいよスタートします。あなたも気軽に参加してみませんか。